

2021年度

[分野] 専門

/基礎はり学・基礎きゅう学

[授業科目]

**東洋医学概論**

1 学年

[基本情報]

担当教員	長谷川 聡		単位数	4	時間数	80
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員が指導する。					
開講学期	前期	後期	授業形態	講義	---	

[授業目標]

東洋医学の基礎となる、思考や歴史を学ぶとともに、東洋医学における人体の考えかたを学んでいく。東洋の考え方を理解し、人の身体がどのような状態になっているかを東洋医学的に把握できる診断と治療の基礎を学んでいく。ストレスから生じる病などについても東洋医学を使って理解していく。

[評価方法]

単位認定試験と小テスト、授業態度での参加度によって行う。

[教科書]

[参考書]

「東洋医学概論（東洋療法学校協会編）」 医道の日本

特になし

[履修の条件・留意点]

特になし

授業計画 ;回数/講義内容/形式

1回	東洋医学の歴史	21回	四診	講義
2回	古代九鍼	22回	四診	講義
3回	陰陽・五行論	23回	四診	講義
4回	気血津液	24回	四診	講義
5回	気血津液	25回	四診	講義
6回	気血津液	26回	四診	講義
7回	気血津液	27回	四診	講義
8回	気血津液	28回	四診	講義
9回	蔵象	29回	四診	講義
10回	蔵象	30回	四診	講義
11回	蔵象	31回	弁証	講義
12回	蔵象	32回	弁証	講義
13回	蔵象	33回	弁証	講義
14回	臓腑の相互関係	34回	弁証	講義
15回	経絡	35回	論治	講義
16回	経絡	36回	論治	講義
17回	経絡	37回	論治	講義
18回	病因	38回	論治	講義
19回	病因	39回	弁証トレーニング	講義
20回	前期単位試験/解答・解説	40回	後期単位試験/解答・解説	試験/講義

2021年度

[分野] 専門

/基礎はり学・基礎きゅう学

[授業科目]

**経絡経穴概論****1 学年**

[基本情報]

担当教員	岡野 亜希子		単位数	4	時間数	80
実務/資格	臨床経験有り/はり師きゅう師の教員が指導する。					
開講学期	前期	後期	授業形態	講義	---	

[授業目標]

鍼灸治療の基本となる経絡経穴(正経十二経脈・督脈・任脈・奇穴で学習する穴数 393 穴)について学習する。

骨度法・経脈の流注・所属の経穴の名称及び部位について理解することを目標とする。

[評価方法]

定期試験    実技試験    実習評価    小テスト    レポート    その他(中間試験)

[教科書]

[参考書]

「新版 経絡経穴概論 (東洋療法学校協会 ほか編)」 医道の日本社

特になし

[履修の条件・留意点]

欠席すると授業に遅れる事になります。

**授業計画 ;回数/講義内容/形式**

1回	経絡・経穴の誕生、経絡の概要	21回	手厥陰心包経、手少陽三焦経	講義
2回	正経十二経脈と奇経八脈	22回	足少陽胆経①	講義
3回	同身寸法と骨度法	23回	足少陽胆経②	講義
4回	督脈①	24回	足厥陰肝経①	講義
5回	督脈②	25回	奇 穴	講義
6回	任脈①	26回	要穴の概略(五俞穴・五行穴など)	講義
7回	任脈②	27回	奇経八脈(八宗穴)	講義
8回	手太陰肺経、手陽明大腸経①	28回	経穴の概念と現代科学的研究	講義
9回	手陽明大腸経②	29回	部 位(骨度)	講義
10回	足陽明胃経①	30回	部 位(手)	講義
11回	足陽明胃経②	31回	部 位(足)	講義
12回	足陽明胃経③	32回	部 位(背部)	講義
13回	足太陰脾経①	33回	部 位(腹部)	講義
14回	足太陰脾経②、手少陰心経	34回	部 位(肩)	講義
15回	手太陽小腸経①	35回	部 位(頸)	講義
16回	足太陽膀胱経①	36回	部 位(頭)	講義
17回	足太陽膀胱経① 足太陽膀胱経②	37回	部 位(顔)	講義
18回	足太陽膀胱経③	38回	部 位(要穴)	講義
19回	足少陰腎経①	39回	部 位(その他)	講義
20回	前期単位試験/解答・解説	40回	後期単位試験/解答・解説	試験/講義



2021年度

[分野] 専門

/臨床はり学・臨床きゅう学

[授業科目]

**生体観察****1 学年**

[基本情報]

担当教員	岡野 亜希子		単位数	1	時間数	30
実務/資格	臨床経験有り/はり師きゅう師の教員が指導する。					
開講学期	---	後期	授業形態	講義	---	

[授業目標]

生態観察とは、目で観察したり、手で触れたりして調べるもので、東洋医学の診察法である四診（望診・聞診・問診・切診）を用いて、生体観察が行えるようにすることを目標とする。

[評価方法]

単位認定試験授業態度での参加度によって行う。

[教科書]

[参考書]

「東洋医学概論 経絡経穴概論（東洋療法学校協会編）」 医道の日本

特になし

[履修の条件・留意点]

特になし

授業計画 ;回数/講義内容/形式

1回	ガイダンス、四診（望診・聞診・問診・切診）について	講義
2回	望 診について	講義
3回	望 診（舌 診）	講義
4回	聞 診について	講義
5回	問 診 ①	講義
6回	問 診 ②	講義
7回	切 診について	講義
8回	切 診（腹 診）	講義
9回	切 診（腹 診）	講義
10回	切 診（切 経）	講義
11回	切 診（経穴診）	講義
12回	切 診（脈 診）	講義
13回	切 診（脈 診）	講義
14回	四診合参	講義
15回	単位試験/解答・解説	試験/講義

2021年度

[分野] 専門 /実習

[授業科目]

## はりきゅう基礎実技

1 学年

[基本情報]

担当教員	松澤 孝司		単位数	3	時間数	90
実務/資格	臨床経験有り/はり師きゅう師、大学の非常勤講師の教員が指導する。					
開講学期	前期	後期	授業形態	---	実習	

[授業目標]

- ・実技道具・実技室の使用を通して、鍼灸師という治療家になるための態度・姿勢を理解することができる。
- ・鍼灸師としての衛生観を理解し、実践することができる。
- ・鍼灸師となるために、はり及びきゅうの基礎実技の重要性を理解し、その技術を修得できる。
- ・基礎実技の修得により、実際に経穴に施鍼・施灸をすることができる。
- ・古典(難経)を通じて、東洋的な考え方・治療観を理解することができる。
- ・難経69難を用いた六部定位脈診について理解し、脈診法及び治療を実践することができる。

[評価方法]

前・後期実技試験を基本とし、提出物・授業への参加度による総合評価とする。

[教科書]

[参考書]

はりきゅう実技(基礎編)

特になし

[履修の条件・留意点]

- ・皆さんの修得度合いにより授業内容は臨機応変に変更します。
- ・欠席すると授業に遅れることとなります。休んだ場合は事前に前回の内容を確認すること。
- ・授業以外の時間にも個人練習が必要となります。

授業計画 ;回数/講義内容/形式

1回	ガイダンス 実技道具確認 糠枕作成案内	実習
2回	ガイダンス 鍼名称/鍼の長さ太さ/古代九鍼	実習
3回	刺鍼の方法/押手と刺手/挿管法	実習
4回	糠枕確認/片手挿管法練習/弾入切皮	実習
5回	撚鍼法/トイレットペーパー配布	実習
6回	灸の概要/艾炷作成方法・練習/片手挿管法・弾入切皮/ペーパー撚鍼	実習
7回	撚鍼法確認/片手挿管法/艾炷作成練習	実習
8回	鍼灸における過誤/片手挿管法・弾入切皮	実習
9回	トイレットペーパー確認/浮きもの通し	実習
10回	消毒法/廃棄物の処理法/艾炷作成練習	実習
11回	撚鍼法確認/片手挿管法/艾炷作成練習	実習

12回	艾炷作成練習／灸の点火練習／自己切皮	実習
13回	自己切皮／相互切皮／灸の点火練習	実習
14回	相互切皮／灸の点火練習	実習
15回	自己刺鍼／灸の点火練習	実習
16回	刺鍼中の手技／灸の点火練習(紙上点火)	実習
17回	相互刺鍼／灸の点火練習／井穴への施灸	実習
18回	相互刺鍼／灸の点火練習／夏季宿題説明	実習
19回	灸の点火練習／相互刺鍼	実習
20回	灸の点火練習／相互刺鍼	実習
21回	実技試験実施要綱説明／実技練習	実習
22回	鍼灸実技練習	実習
23回	前期鍼実技まとめ	試験/実習
24回	前期灸実技まとめ	試験/実習
25回	灸の点火練習／相互刺鍼	実習
26回	灸の点火練習／相互刺鍼	実習
27回	灸の点火練習／相互刺鍼	実習
28回	灸の点火練習／相互刺鍼	実習
29回	難経入門／難経 42 難／鍼灸実技練習	実習
30回	難経39難／鍼灸実技練習	実習
31回	難経8難／鍼灸実技練習	実習
32回	難経 23 難／鍼灸実技練習	実習
33回	難経 1 難／鍼灸実技練習	実習
34回	難経 2 難／鍼灸実技練習	実習
35回	難経 18 難／鍼灸実技練習	実習
36回	難経 69 難／鍼灸実技練習	実習
37回	六部定位脈診入門／鍼灸実技練習	実習
38回	六部定位脈診入門／鍼灸実技練習	実習
39回	六部定位脈診入門／鍼灸実技練習	実習
40回	六部定位脈診入門／鍼灸実技練習	実習
41回	六部定位脈診入門／鍼灸実技練習	実習
42回	鍼灸実技練習	実習
43回	後期鍼実技まとめ	試験/実習
44回	後期灸実技まとめ	試験/実習
45回	1年間のまとめ	実習



2021年度

[分野] 専門 /実習

[授業科目]

## はりきゅう応用実技Ⅰ

1 学年

[基本情報]

担当教員	森 孝史		単位数	1	時間数	30
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員が指導する。					
開講学期	---	後期	授業形態	---	実習	

[授業目標]

はりきゅう実技<基礎編>のP.47～ 5. 身体各部の刺鍼には96穴について解説してある。その中から各回取穴し、ステンレス鍼(寸3-2・寸6-2)を使用して刺鍼・施灸する。

- ・直刺、斜刺、横刺を実際に行うことができる。
- ・適切な深度と方向で刺入することができる。
- ・各穴の所属経、取穴体位・取穴について理解できる。

[評価方法]

実技試験・出席日数・授業態度で評価し、評価点60点以上で単位認定とする。

[教科書]

はりきゅう実技<基礎編> 新版 経絡経穴概論 配布プリント

[参考書]

図解鍼灸臨床手技の実際 尾崎昭弘著

[履修の条件・留意点]

欠席すると授業に遅れることとなりますので、欠席1回につき5点減点いたします。背中や腹部を相手に提供して頂きます。

授業計画 ;回数/講義内容

1回	直・横・斜刺の練習(練習器/自分)	11回	体幹背面②(背部)
2回	上肢部①	12回	体幹背面③(腰仙部)
3回	上肢部②	13回	体幹背面 復習
4回	上肢部③	14回	実技試験(直刺・斜刺・横刺)
5回	上肢部 復習	15回	体幹前面①(腹部)
6回	下肢部①	16回	体幹前面②(胸部)
7回	下肢部②	17回	頸部
8回	下肢部③	18回	頭部
9回	下肢部 復習	19回	顔面部
10回	体幹背面①(上背部)	20回	単位認定試験/解説

2021年度

[分野] 専門

/臨床実習

[授業科目]

**臨床実習 I**

1 学年

[基本情報]

実習調整者 /担当者	松澤 孝司		単位数	1	時間数	45
実務/資格	臨床経験有り/はり師きゅう師、大学の非常勤講師の教員が指導する。					
開講学期	前期	後期	授業形態	---	実習	

[授業目標]

- ・スポーツ選手の間では、はりきゅうの利用が増加している。
- ・スポーツの現場において、トレーナーステーションを設け、緊迫した場面で、はり師きゅう師がどのようにスポーツ選手に対応しているかを見学する。それにより、コミュニケーションをはじめ、テーピング技術やストレッチの知識など、自分にとって必要な事柄について気付くことを目的とする。

[評価方法]

実習への出席と実習への取り組み状況、実技試験、実習ノートの提出、実習の振り返りにより総合的に評価する。

[履修の条件・留意点]

- ・現場では選手は必死にその日の競技に臨んでいる。諸君も実習には真摯な気持ちで臨むこと。
- ・スポーツの現場での状況により臨機応変な行動が必要になることがある。
- ・指導教員の指示に従うこと。
- ・下記の実習先のうち、必ず一人6回(計45時間)分の実習を選択し、出席しなければならない。

## 授業計画 ;回数/講義内容/形式

1	駒澤陸上競技場 陸上競技	18	千葉県スポーツセンター 陸上競技
2	駒澤陸上競技場 陸上競技	19	千葉県スポーツセンター 陸上競技
3	千葉県スポーツセンター 陸上競技	20	駒澤陸上競技場 陸上競技
4	千葉県スポーツセンター 陸上競技	21	駒澤陸上競技場 陸上競技
5	千葉県スポーツセンター 陸上競技	22	駒澤陸上競技場 陸上競技
6	千葉県武道館 柔道	23	東京武道館 柔道
7	東京都講道館 柔道	24	千葉県スポーツセンター 陸上競技
8	千葉県武道館 柔道	25	千葉県スポーツセンター 陸上競技
9	千葉県スポーツセンター 陸上競技	26	千葉県スポーツセンター 陸上競技
10	千葉県武道館 柔道	27	板橋区荒川河川敷 高校駅伝
11	千葉県スポーツセンター 陸上競技	28	千葉県武道館 柔道
12	駒澤陸上競技場 陸上競技	29	千葉県武道館 柔道
13	駒澤陸上競技場 陸上競技	30	千葉県武道館 柔道
14	駒澤陸上競技場 陸上競技	31	東京都講道館 柔道
15	駒澤陸上競技場 陸上競技	32	東京都武道館 柔道
16	駒澤陸上競技場 陸上競技	33	東京都講道館 柔道
17	江戸川陸上競技場 陸上競技	34	東京都講道館 柔道



2021年度

[分野] 専門

/総合領域

[授業科目]

あはき史

1 学年

[基本情報]

担当教員	前川 秀朗	単位数	1	時間数	20
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員が指導する。				
開講学期	前期	---	授業形態	講義	---

[授業目標]

古代から現在に至るまで、西洋と東洋において人々が「人体」と「病気」をどのように考え、どのような「治療」をしてきたのかを学ぶ(医学入門)。

[評価方法]

出席日数が基準を満たし、単位認定試験に合格することで単位認定とする。

[参考書]

[教科書]

プリント資料配布	特になし
----------	------

[履修の条件・留意点]

特になし

授業計画 ;回数/講義内容/形式

1回	授業の概要 四大文明と医学の発生、西洋医学史(古代ギリシア)	講義
2回	西洋医学史(古代ギリシア、ローマ、中世)1	講義
3回	西洋医学史(古代ギリシア、ローマ、中世)2	講義
4回	西洋医学史(17世紀～19世紀以降)1	講義
5回	西洋医学史(17世紀～19世紀以降)2	講義
6回	東洋医学について	講義
7回	東洋医学について(古代中国の病因論他)	講義
8回	東洋医学史(古代以前～古代)	講義
9回	東洋医学史(日本医療史 中世～近代)	講義
10回	単位試験/解答・解説	試験/講義